

ご存じですか！文化財

「玉敷神社神楽」

国指定重要無形民俗文化財
平成20年3月13日指定

31



問合せ
騎西教育事務所
☎0480・73・7610



所在地 騎西552

今回ご紹介する文化財は、玉敷神社の祭りに舞われる神楽です。

社殿に向かって左手に建つ神楽殿は天保7(1836)年の建立で、茅吹き屋根の重厚な建物です。

加須市有形文化財に指定されていいて、神楽を行っていない日に行っても一見の価値があると思います。

神楽は2月1日、5月5日、7月15日、12月1日に行われます。わたしが行った時には、すでに舞いが始まっていました。この日はミテグラの舞、イザナギ・イザナミの連れ舞、おかめの舞、戸隠明神の舞、恵比寿の舞、山の神の舞の6曲を舞うとのこと。

写真は「イザナギ・イザナミの連れ舞」の一場面ですが、これを見ても分かるとおり、古式にのっとった厳かな舞であり、後方で演奏する笛、鞆鼓、太鼓の音も厳粛な雰囲気醸し出します。

平成20年には江戸神楽の源流を伝える貴重な芸能として、国の重要無形民俗文化財に指定されました。



※日程が近づくと市のホームページで、時間や曲目など具体的な内容を紹介しています。

紹介者 大友 務(戸室)